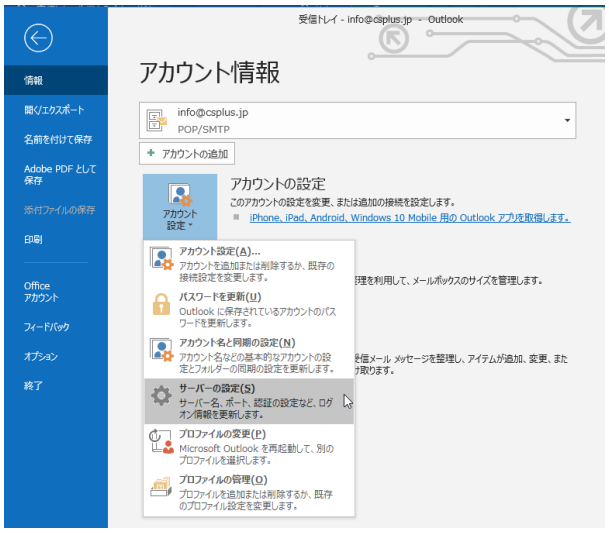
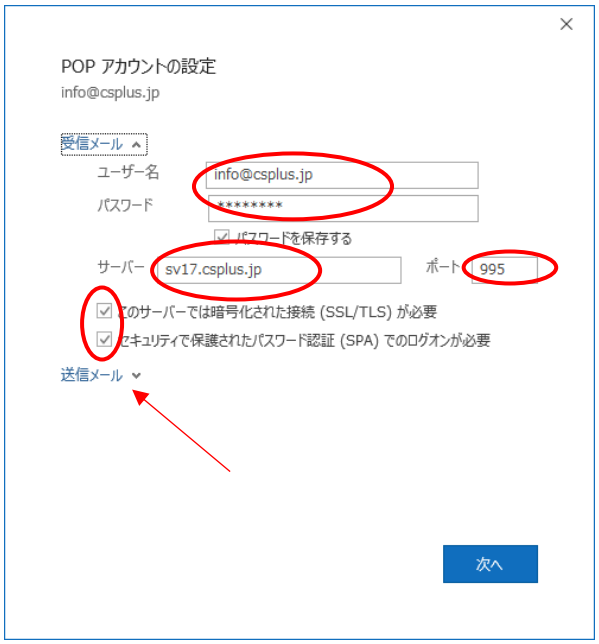
メールの設定方法（Outlook 2019 編）

ここでは MicrosoftOffice2019 に付属の Outlook2019 でのメールアドレス設定方法を解説します。

●既に設定をしたアカウント情報を確認・修正する場合



メールアカウントのサーバー情報を修正する場合は、「ファイル」「アカウント設定」から「サーバーの設定」をクリックします。



すると、左図のようになりますので、以下の設定に変更します。

メールサーバー名：sv17.csplus.jp

ユーザー名：（メールアドレスと同じ）

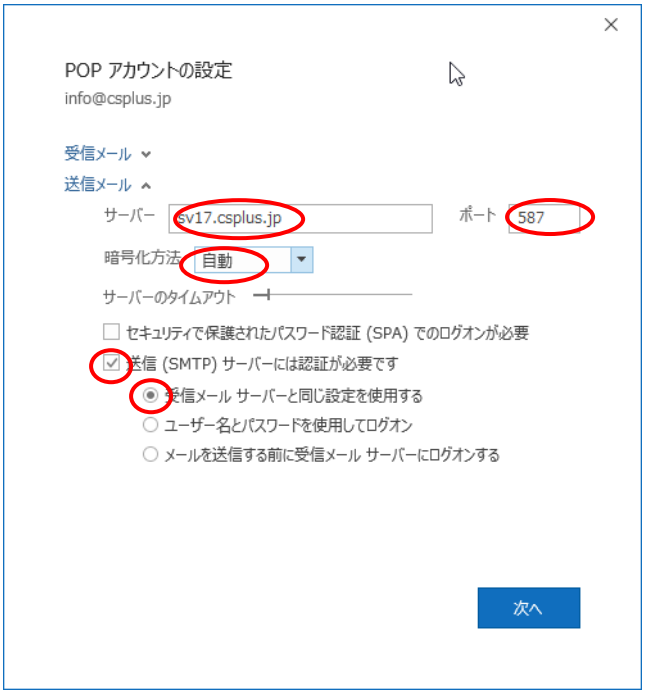
パスワード：（別途連絡）

このサーバーでは暗号化された接続が必要：チェック

セキュリティで保護されたパスワード認証でのログオンが必要：チェック

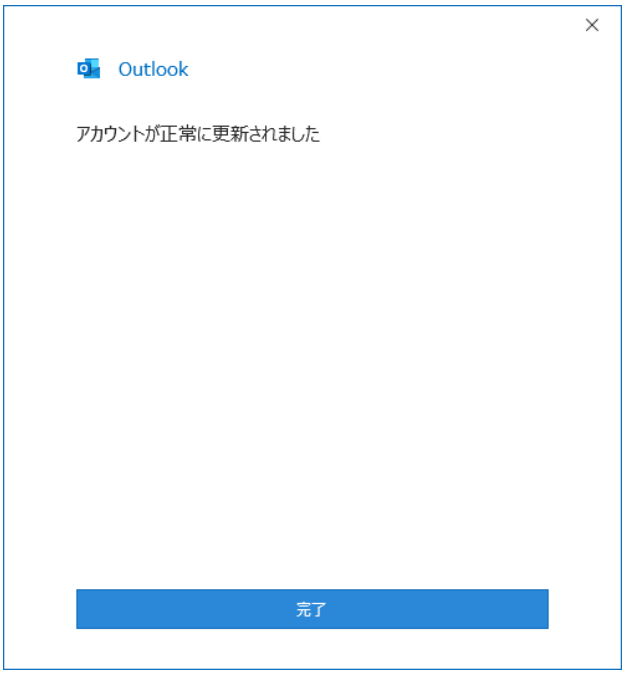
受信ポート番号：995

続いて、「送信メール」をクリックします。



メールサーバー名：sv17.csplus.jp
送信ポート番号：587
暗号化方法：自動（STARTTLS）
送信サーバーには認証が必要です：チェック

ここまで設定したら、「次へ」をクリック。



左図のように「アカウントが正常に更新されました」と表示されたら OK です。

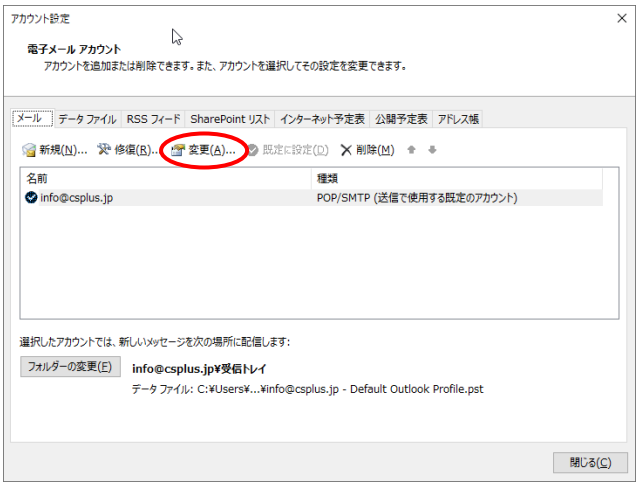
「完了」をクリックして下さい。

念の為に次ページの項目もご確認ください。

メッセージの保存期間

メールサーバーの POP という接続方法では、通常は、パソコンでメールの受信を行うと、サーバーからメッセージが削除されます。（パソコン側は消えません）
しかし、ひとつのメールアドレスに対して、パソコンとスマートフォンなど複数台で受信をする場合には、サーバーにメッセージを残しておかないと、不都合が生じます。
そこで、受信をしてもサーバーにメッセージを残しておく設定にしておきます。

「ファイル」「アカウント設定」から「アカウント設定」を選択します。



すると、左図の画面になりますので、「変更」をクリックします。

サーバーにメッセージのコピーを残す：チェック
サーバーから削除する：１４
（日数は、運用状況によって 3～31 日くらい）

「サーバーにメッセージのコピーを残す」にチェックが入っているのに、「サーバーから削除する」にチェックが入っていないと、サーバーにメールがどんどん溜まっていき、メールボックスの容量が一杯になった段階で外部からメールが受信できなくなりますのでご注意ください。